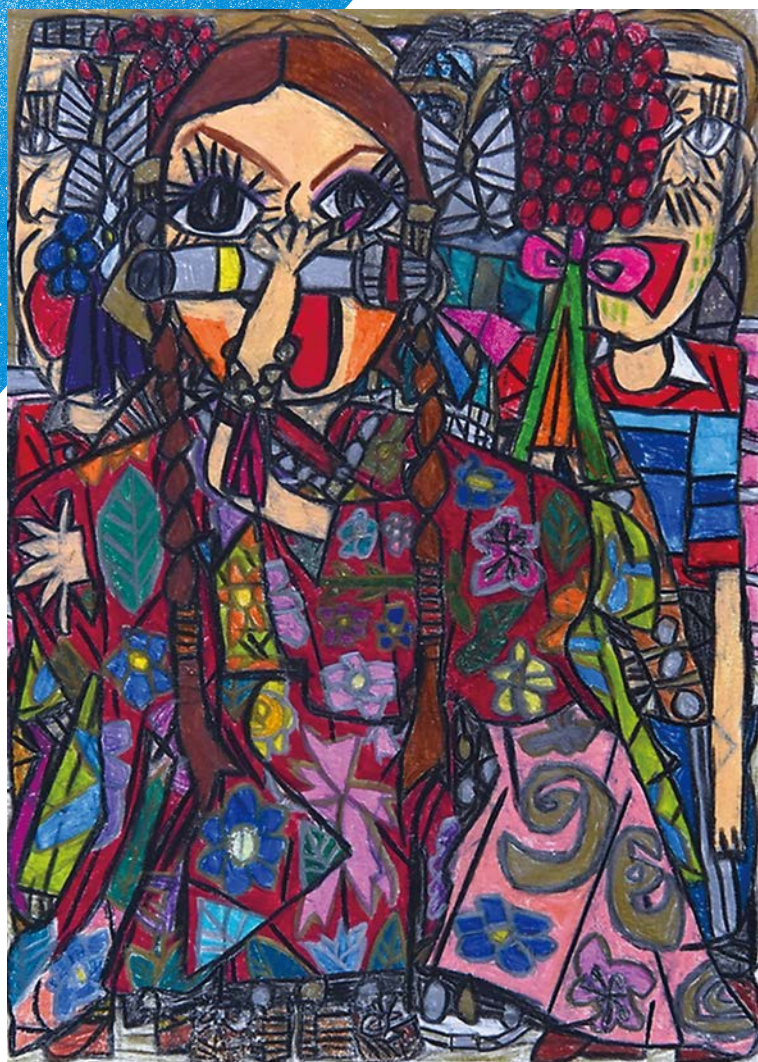


岩見沢

アール・ブリュット芸術祭 2019

IWAMIZAWA ART BRUT FESTIVAL 2019

湖南ダンスカンパニー（滋賀県）



田湯加那子（北海道）「無題」2006年 2017ジャパン×ナントプロジェクト「KOMOREBI」展出展作品



瑞宝太鼓（長崎県）

会期：2019年 11月10日(日)～24日(日)

会場：岩見沢市民会館まなみーる（岩見沢市9条西4丁目1-1）、
岩見沢市イベントホール赤れんが（岩見沢市有明町南1-14）、他

主催：共生社会の実現に向けた文化芸術プロジェクト実行委員会

共催：北海道新聞社、北海道教育大学岩見沢校

後援：北海道

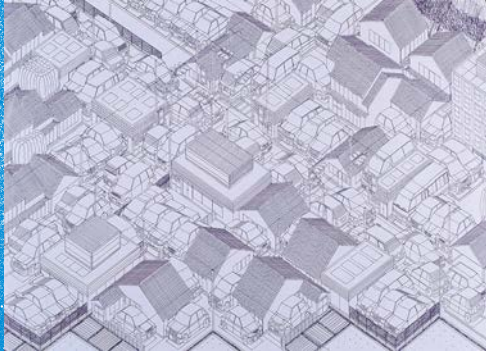
協力：障害者の文化芸術国際交流事業実行委員会、
北海道アールブリュットネットワーク協議会

岩見沢アール・ブリュット芸術祭 2019

IWAMIZAWA ART BRUT FESTIVAL 2019



戸來貴規(岩手県)「日記」2000-2006年 267×190×94mm 紙、鉛筆、紐
撮影:大西暢夫



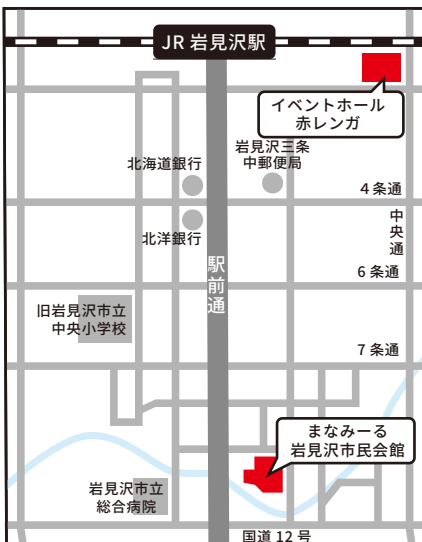
戸倉清志(高根県)「街と車のある風景」2001年 420×570mm 紙(カレンダー裏面)、ボールペン 撮影:大西暢夫 出展作品は異なる場合があります。



河上優矢(北海道)「優矢のモータータウン」2012年以降 810×860×320mm
ミクストメディア



『日日是好日』/黒木華 樹木希林 鶴田真由 多部未華子 /監督・脚本:大森立嗣/
原作:森下典子『日日是好日』「お茶」が教えてくれた15のしあわせ(新潮文庫刊)
©2018『日日是好日』製作委員会



岩見沢市では、2009年より作品展「いわみざわハート&アート」、2016年より「北海道アール・ブリュットフォーラム in 岩見沢」を継続的に開催するなど、多くの福祉関連機関や大学などと連携しながら障がい者芸術と地域社会の醸成に取り組んできました。この10年の節目となる2019年は、これまでの成果を振り返るとともに、私たちの歩むべき未来を考える場として「岩見沢アール・ブリュット芸術祭2019」を打ち出します。

フランス元首相・ナント市名誉市長ジャン＝マルク・エロー氏が講演した昨年の「北海道アール・ブリュットフォーラム」を引き継いで、2019年は「ジャパン×ナントプロジェクト」に焦点を当てます。

ジャパン×ナントプロジェクト^(※)は、日本の障がいのある人の芸術文化を発信する事業として2017年に仏ナント市で開催され、その躍動的な舞台表現や個性豊かなアール・ブリュット作品は人々に大きな感動を与えました。

先鋭的芸術を発信するフランスの地で絶大な評価を受けたそれらの舞台芸術やアール・ブリュット作品を北海道岩見沢市で紹介するとともに、岩見沢×ナント、両都市の出会いを通じて地域共生社会の未来の姿を探ります。

(※) ジャパン×ナントプロジェクト

2017年10月、フランス・ナント市で、日本のアール・ブリュット「KOMOREBI」展、ダンス、演劇、伝統芸能の舞台公演、日仏の専門家・実践家による国際研究フォーラム、バリアフリー映画上映、ワークショップなどが実施され、「KOMOREBI」展には55,000人、舞台芸術・フォーラム等には11,000人が来場しました。

<プログラム>

ジャパン×ナントプロジェクト凱旋

日本のアール・ブリュット「KOMOREBI」展 in 岩見沢

瑞宝太鼓(長崎県)

湖南ダンスカンパニー(滋賀県)

ジャパン×ナントプロジェクト映像上映/パネル展

国際研究フォーラム

北海道のアール・ブリュット展

体験型ワークショップ

バリアフリー映画上映「日日是好日」

ほか

<同時開催>

11月24日(日)

「アール・ブリュットショウケース2019 in 岩見沢」

岩見沢市民会館まなみーる 大ホール

(岩見沢市9条西4丁目1-1)

<問合先・事務局>

共生社会の実現に向けた文化芸術プロジェクト実行委員会(山田・近藤)

〒068-8686 北海道岩見沢市場が丘1丁目1-1 岩見沢市健康福祉部 福祉課内

TEL 0126-23-4111(内線258) FAX 0126-24-0294

Eメール fukushi@i-hamanasu.jp

詳しくはHPまで

